

「とこい洋治」  
後援会報

# 笑顔大好き

EGAO

DAISUKI

2002.4.21  
VOL.9  
とこい洋治後援会  
〒319-0204 西茨城郡岩間町大字土師1280-17  
TEL&FAX  
0299 (37) 6888

茨城県議会議員

とこい洋治 県政報告NEWS

## 21世紀の人づくり、教育改革がスタート!

学校完全週5日制、新学習指導要領



▲新1年生と保護者の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度は、学校の完全週5日制や新学習指導要領による総合学習の時間が実施され、教育改革元年ともいえます。子供たちが、生きる力を養い、たくましく育っていくように、常井議員も県政において応援します。(平成14年3月23日岩間町おしのべ保育園の卒園式にて。左端は、住谷園長先生。右端は、常井議員。)

## がんばれ中小企業! 常井議員が予算委で強く支援を求める。

常井議員は、3月15日の予算特別委員会において、県の中小企業支援策を質問しました。本県事業所の99.8%を占める中小企業は、デフレ経済の下で、業績悪化に伴う資金繰りが厳しい現状にあり、金融庁の検査に起因する貸し渋り、貸しはがしなどの実態がある中で、苦境に立たされております。日本の経済発展や雇用の維持・確保における中小企業の貢献は大きいものがあり、現在の窮状に対する県の支援策を橋本知事に強く求めました。

### 農林水産委員会で活躍

この度の委員会改選で、常井議員は、農林水産委員会に所属しました。魅力とやりがいのある農業、産業として確立した農業にするため、意欲をもって取り組みます。子供の頃から、農作業の手伝いを通して、農業体験を持っている同議員は、21世紀は農業の時代にしたいと展望を語っています。また、同議員は、最近クリ苗木を植え付け、クリ栽培を始めました。実体験からの提言を期待します。



# 一緒に創ろう!

平成14年第1回定例県議会 を終えて

# ふるさと西茨城郡

友部町  
岩間町  
岩瀬町

# の新時代

平成14年第1回茨城県議会定例会は、2月26日から3月22日までの25日間開かれ、平成14年度予算、13年度補正予算、12年度決算の認定及び条例など104議案を可決して閉会しました。常井洋治議員は、予算特別委員会、文教治安委員会で、活発な質疑・審議を行いました。

## 平成14年度一般会計予算を可決

# 1兆731億9,700万円

(13年度当初比1.1%の減)

### 予算の特徴

#### <規模>

2年ぶりの減となった。財源不足額は、県税収入の大幅な落ち込みなどの影響で、約900億円に拡大したため、徹底した経費の見直し、削減を行ったことによる。3選後初の予算で、橋本知事は、福祉や教育、景気・雇用対策に力を入れたと説明した。

<県税収入大幅減>…3,003億円を計上(対前年度比▲246億円、▲7.6%)

法人2税(法人事業税・法人県民税)は、企業収益の減少により、対前年比8.3%減、75億円の減少で825億円(ピークの平成3年度1,500億円の約55%)。県民税利子割が郵便貯金の集中満期のピークが過ぎたことに伴い、126億円の大減。個人県民税も給与所得の減少等により、12億円の減。

<進む財政硬直化>…義務的経費は、6,348億円を計上。(歳出全体の59.2%)

人件費は、一般職員の給与カット復元(議員等特別職はカット継続)や警察官の増員(120人増員)等による増。公債費は、県債の本格的償還による5.8%の増。扶助費は、介護保険等医療・福祉関係の増による3.4%の増。

#### <公共事業>

国補公共事業費は、1,542億円(対前年度比91.4%)を確保。県単公共事業費は、324億円(対前年比91.3%)を計上。(国予算の公共投資関係費は▲10.7%である)。

#### <県債発行残高=県の借金>

1兆4,927億円(県民1人当たり49万8,000円)。

#### <基金取り崩し>

財源不足額に充当するため、一般財源基金から247億円を取り崩した。13年度末基金残高は、159億円(ピークの平成3年度は、1,763億円の残高)。

#### <重点新規事業>

- ① 小学1年生に対する少人数学級を導入。
- ② 「いばらきブロードバンドネットワーク整備事業」

- ③ 中小企業へのパワーアップ、セーフティネット融資などの貸付枠の拡大(562→617億円)
- ④ 緊急雇用創出事業(約3,500人雇用)
- ⑤ 入所待機者増に対応する特別養護老人ホーム、保育所等の新增築への補助金の大幅増。
- ⑥ W杯、インターハイ開催事業
- ⑦ 少子化対策事業(延長保育、小児救急医療など)

### 地元関係予算トピックス

#### 県立医療・福祉施設再編検討費(新規)一予算額600万円

県立友部病院、リハビリテーションセンターなど県立医療・福祉施設の再編整備の検討を行う。(特に友部病院については、政策医療への転換及び中央病院との連携を踏まえ、改築について検討する。)



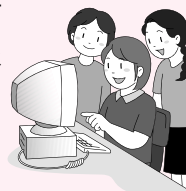
▲慰問の日本舞踊を楽しむ、施設のお年寄りの皆さん。現在、老人福祉施設への入所待機者は2,500人、保育所への入所待機者は580人いる。これらを減らすため、本年度予算で増改築補助金などを、老人福祉施設で対前年度比1.8倍、保育所で2.6倍と大幅に伸ばした。

### 「ブロードバンド」ってなあに?

- ・日本語では、「広帯域」。周波数の幅を広く使って「大容量のデータを高速で受信または送信できる通信回線」のことをいう。通常1Mbps(1メガビット)以上の容量をいう。(後出参照)
- ・「マルチメディア(=音声・テキスト・動画・映像などを統合)の時代に対応した高速の通信回路」の意味で使われる。
- ・一般的なサービスは、NTTに申込みADSLがある。この普及では、本県は、昨年末で、1.54%で全国で27位。
- ・現在インターネット利用者は、ISDNを多く利用しているが、その容量は、最大64Kbps。それに対して、ADSLは、1.5Mbps以上で、ISDNの23倍以上の容量となる。映像なども速く見られる。

\*bps=1秒間に流れるコンピュータが取扱う情報量の最小単位 bit(ビット)数。

- 1K(キロ)=1,000bit(ビット)
- 1M(メガ)=100万bit
- 1G(ギガ)=10億bit



## 予算特別委員会 質疑要旨

### 中小企業を救え!県の支援を求める。 ブロードバンド時代の幕開ける。

#### 1. 中小企業支援について

##### <中小企業の資金繰りに支援を!>

**常井議員** 本県事業所の99.8%を占めている中小企業は、デフレ経済のもとで、業績悪化に伴う資金繰りが厳しい現状だ。金融庁の検査が、民間金融機関による「貸し渋り」・「貸しはがし」の原因になっている。国のデフレ対策が円滑に機能しない。県は、この矛盾する実態をよくは握して、問題点の解決に向けて国へ働きかけをすべきだ。

**商工労働部長** デフレ対策の金融の実態をは握して、制度趣旨の徹底を国に要請して参りたい。

##### <石岡信用金庫取引中小企業の資金調達に支援を!>

**常井議員** 石岡信用金庫の破綻により、借入金のある中小企業経営者は、融資の継続や新たな融資について大きな不安がある。県はどう考え、どんな支援をできるのか。

**商工労働部長** 石金の貸出金は、991億円。取引企業は、5,381企業あるが、受け皿となる水戸信用金庫の協力はもとより、県内の金融機関に対し、資金調達が円滑に行われるよう要請をしまいたい。

##### <親身な相談窓口の充実を求める>

**常井議員** 中小企業は、これまで日本経済の発展を支え、税収面でも多大な貢献をしてきた。雇用の維持には、「ダム」のような大きな役割を果たしている。今、苦境の中で必死に歯を食いしばって頑張っている。県は、できるだけ支援策を講じるべきだ。その姿勢が、新産業創出やベンチャー企業育成の成功の鍵となる。

中小企業への相談窓口を親身になって充実させ、法律、税務の専門家による相談対応も検討すべきだ。同時に緊急時の支援措置について、広報周知を徹底すべきだ。

**橋本知事** 中小企業の経営や金融等の相談窓口として、

弁護士・公認会計士の協力を得て、中小企業振興公社の中にセーフティネット相談室の設置の検討を始める。

県は常井議員の質問に対する答弁に基づき、「中小企業セーフティネット相談室」を4月4日に設置した。中小企業経営診断士、税理士、経営コンサルタントなど専門相談員が常駐する。設置期間は、当面1年間。

☎029-224-5341 水戸駅南口茨城県産業会館内

#### 2. いばらきブロードバンドネットワーク (仮称) 整備事業について

##### <県民誰もが平等に活用し、楽しめるしくみを創ろう>

**常井議員** この事業は、2年間で約21億円の事業費で、2.4ギガという日本最高水準の情報基盤を整備するというが、県民生活の将来はどう変わるのか。

また、この事業の効果が県民等しく享受でき、接続(利用)の機会と内容と費用において地域格差が生じないように実現すべきだ。

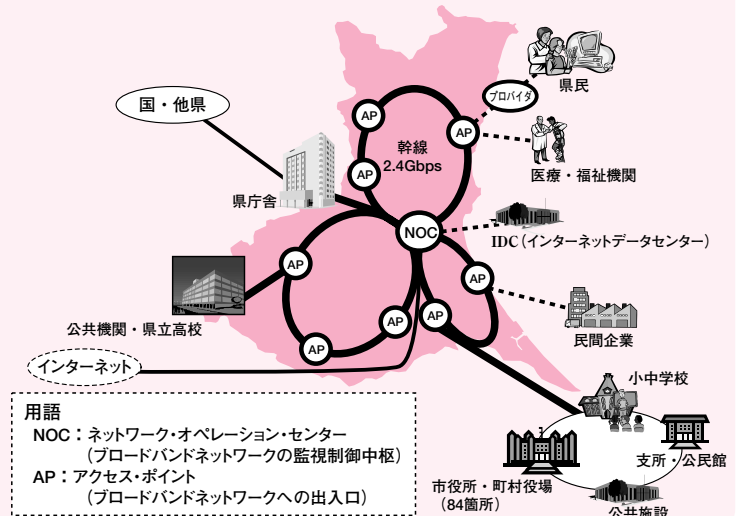
**橋本知事** この事業を始めるに当たって頭にあったことは、これからの地域競争のなかで、若い人たちが魅力を感じてくれ、企業が喜んで来てくれる地域にして、地域が元気になるって、高齢者などにとっても住みやすい地域社会を目指したいということだった。(続けて、橋本知事は、県民生活の将来の姿として次のような例を挙げた。)

- ①若い人たち…リアルタイムでファッション・音楽・映像の情報が得られる。
- ②お年寄り…自宅で診察が受けられる。映像で孫と話ができる。インターネットで買い物ができる。
- ③就業者…ホームオフィス(自宅)で、仕事を継続しながら子育てがしやすくなる。
- ④企業…地方にいても世界を相手に電子商取引ができる。新事業分野への進出が盛んになる。
- ⑤行政…自宅や職場から県庁や役場へ行政手続きができる。電子自治体が構築される。

### 整備のポイント

- ①茨城県は、2.4G(ギガ)bpsの光ファイバー網として整備する。2.4Gbpsを全県に整備するのは、日本初となる。「日本一の大容量の情報通信基盤」の整備を目指す。
- ②県内には、NTTや東電(送信線)などが敷設した光ファイバー網があるが、利用されていない約770kmを県が借り上げる。借上料=維持費 年間約7億7,000万円。
- ③建設費の主な使い道は、15カ所のアクセスポイント=AP(一般回線との接続口)への通信機器の設置。
- ④建設費(14・15年度で約21億円)、管理費とも、幹線部分は県と市町村が2:1の割合で分担する。
- ⑤幹線及び県への支線は、15年4月から、市町村への支線は、15年10月から供用開始する。
- ⑥一般家庭の利用には、民間プロバイダー(インターネット接続業者(IPS))の進出が重要となる。

#### いばらきブロードバンドネットワーク(仮称)のイメージ図



# 文教治安委員会の質疑概要

## 「学校週5日制、新学習指導要領が実施」

(警察本部部門) …<2002年3月8日>

- ・防犯サポーターの内容と今後の拡充方針はどうか。
- ・未解決の凶悪犯罪の捜査態勢の現状はどうか。刑事の捜査能力の一層の向上策を求める。
- ・防犯対策を県民総ぐるみ運動で推進する方策を取るべきだ。生活安全条例の制定推進を。

(教育庁部門) …<2002年3月12日>

- ・高校生に対する奨学資金貸与条例案は、本当に「経済的理由」で修学が困難な者を救済できるのか。施行適用時期に問題がある。
- ・新学習指導要領と遠山文科相の「学びのすすめは」矛盾しないのか。学校現場へ説明できるのか。また、土曜スクールをどう考えるのか。

常井議員は、上記の事項について質疑を行いました。

いよいよ4月1日から子供に生きる力を養い、ゆとりをもった教育を銘打った学校週5日制と新学習指導要領が実施されます。小・中学校での「総合的な学習の時間」で子供たちが自ら物事を究明していく態度を身につけることに期待がふくらみます。同時に従来の授業内容の3割削減による学力低下が危惧されます。本委員会でも、相当議論されましたが、教育長は「まず、やってみることが大切。」と決意を述べました。



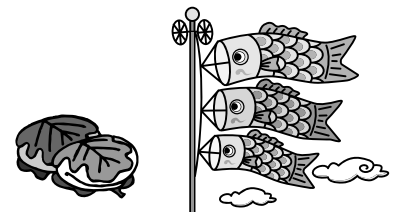
(委員会での質疑風景)



## 田中秀征「民権塾」のご案内

- ・講演 / 「政治経済の展望を語る」
- ・とき / 6月1日(土)午後3時～5時
- ・ところ / 茨城県総合福祉会館 (国道50号バイパス県庁入口交差点)
- ・会費 / 1,000円 (当日受付でお支払いください。)
- ・主催 / 田中秀征民権塾 (連絡先 029(202)0088)  
常井議員が尊敬する政治家の一人である田中秀征先生を本県に迎える「民権塾」です。現在と将来の政治を考えるため、ぜひともご自由にご参加ください。

<田中秀征> (たなか・しゅうせい)  
 ・元経済企画庁長官、福山大学教授  
 ・衆議院議員三期、細川内閣の首相特別補佐  
 ・現在、小泉首相に経済政策などをアドバイスする、「小泉首相と談論する会」の座長を務めている。



▲岩瀬町わくわく連合会(代表/仁平守男さん)の皆さんがお雛祭りの日に、岩間町の特別養護老人ホーム「すずらん」を慰問した。フラダンス、ダンス、舞踊、合唱と多彩な出し物にお年寄りたちも大いに喜んだ。元気な高齢者のパワーに、常井議員も感心し、超高齢社会のあり方を学んだ。(14年3月)



◀常井議員は、友部町と周辺の国、県、町道の道路網の再編整備の必要性を一般質問で提唱してきた。それを受けて県も積極的に協力した結果、「友部町幹線道路網計画調査報告書」が策定された。友部駅橋上化や自由通路の整備など重要課題とのリンクが期待される。(友部駅北口広場予定地からみる友部駅)



▲友部駅前通り(県道平友部停車場線)の改修工事が始まった。「福祉の町友部」の玄関口にふさわしい道路・歩道として整備するもので、常井議員が一般質問で取り上げた。地権者の皆さんのご協力により、民地への電柱移設工事が進んでいる。(14年4月)



▲知的障害者の小規模作業所「ボイス社」(水戸市)では、養護学校高等部卒業者ら3人が入社し、合計8人が就職している。みんな「我々はベンチャーだ」との意気込みで、日本ビクターなどの仕事に励んでいる。常井議員も応援しています。(14年4月)

▶岩瀬町入郷地区に県営曾根アパートが完成し、4月1日から32世帯が入居した。15年度以降の猿田小学校の入学見込児童が23人おり、地域の活性化が期待される。常井議員は、岩瀬町や地元と協力して推進してきました。(14年4月)



◀常井議員は、原子力の安全対策に常日頃から強い関心を示している。この度同僚議員らと使用済核燃料再処理施設等を建設中の青森県六ヶ所村を調査した。併せて同県・東通村で原子力発電所建設予定地を視察した。首都圏の電力供給のために、東北電力のエリアで37年もかけて東京電力が原子力発電所の建設の努力を続けていることに驚いた。(14年2月)